



三陸沿岸道路 浦島大島ICと気仙沼湾横断橋 (写真提供:東北地方整備局)

21世紀初頭の技術・英知を結集 復興の針路示す570kmの道路網

沿岸被災地の悲願叶うー

復興道路・復興支援道路が18日、全線開通した。東日本大震災から10年。復興のリーディングプロジェクトと位置付け始動した道路ネットワーク整備は、異例のスピードで全通を果たした。官民双方の技術

と英知が結集し、用地提供者をはじめとした地域の理解と協力、何よりも未曾有の困難を克服しようとする被災地域の強い願いが結実した成果と言っていい。全長570kmに及ぶ新たな道路網は今後、復興の総

仕上げに威力を発揮することはもとより、物流の迅速・効率化や地域産業の育成と発展、救急医療活動の支援など東日本一円のさらなる発展に貢献することとなる。



東北中央自動車道(相馬福島道路) 桑折高架橋 (写真提供:東北地方整備局)



三陸沿岸道路・宮古盛岡横断道路 宮古中央JCT (写真提供:東北地方整備局)



三陸沿岸道路・東北横断自動車道釜石花巻線(釜石～花巻) 釜石JCT (写真提供:東北地方整備局)



みやぎ東北高速幹線道路「佐沼工区」 (写真提供:宮城県東部土木事務所)

祝・全線開通 地域の未来と人の暮らしを結ぶ道

※順不同

一般社団法人
日本建設業連合会
東北支部
支部長 森田 康夫
〒980-0014 仙台市青葉区本町二丁目2-3(広業ビル3F)
TEL.022(221)7810

一般社団法人
日本道路建設業協会
東北支部
支部長 田 祐久
〒980-0824 仙台市青葉区支倉町4-34(マルキンビル3F)
TEL.022(264)1819 FAX.022(216)9333

一般社団法人
日本橋梁建設協会
東北事務所
所長 山田 克輔
〒980-0021 仙台市青葉区中央一丁目6番35号
(東京建物仙台ビル)川田工業株内
TEL・FAX.022(262)4855

一般社団法人
東北測量設計協会
会長 佐藤 和昭
〒980-0014 仙台市青葉区本町三丁目6-17
TEL.022(263)0922 FAX.022(263)1744

JCC 一般社団法人
日本補償コンサルタント協会
東北支部
支部長 安孫子 健一
事務局/〒980-0014 仙台市青葉区本町一丁目3-9(第6広業ビル7F)
TEL.022(261)1935 FAX.022(261)4558

日本アスファルト合材協会東北連合会
会長 野口 典秀
〒980-0824 宮城県仙台市青葉区支倉町4-34(マルキンビル3F)
TEL.022(264)4150 FAX.022(268)0301

一般社団法人
岩手県建設業協会
会長 向井田 岳
盛岡市松尾町17-9(岩手県建設会館3階)
TEL.019(653)6111

一般社団法人
宮城県建設業協会
会長 千葉 嘉春
〒980-0824 仙台市青葉区支倉町2-48
TEL.022(262)2211 FAX.022(263)7059
http://www.miyakenkyo.or.jp

一般社団法人
福島県建設業協会
会長 長谷川 浩一
福島市五月町4-25 TEL.024(521)0244代

未来へつなぐ 都のまちづくり
一般社団法人
仙台建設業協会
会長 深松 努
仙台市青葉区支倉町2-48 TEL.022(265)7094

ごあいさつ

東北地方整備局長 稲田 雅裕
三陸沿岸道路の全線開通に当たり、ご挨拶を申し上げます。

この度12月18日に、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして、国土交通省が中心となって整備を進めてまいりました、復興道路である三陸沿岸道路が全線開通いたしました。

これら一帯に用地をこの提供いただいた地元の方々をはじめとして、事業の推進にご支援、ご協力をいただいた多くの関係者の皆さまのおかげであり、心から感謝申し上げます。

復興道路・復興支援道路の整備にあたっては官民が連携した事業促進PPPの導入や資材不足を補うための公共生コンプラントの設置、現場の施工実態を踏まえた間接工事費の増減を行う復興係数の導入などによる入札不調対策といったさまざまな取り組みにより、かつてないスピードで整備が進められました。

この全線開通により、八戸市から仙台市までの三陸沿岸地域を縦貫する国道45号の線形不良区間や津波浸水区域の回避、事故・災害時の代替性も確保され、安全性・信頼性・速達性の高い高速道路ネットワークが結ばれます。

これにより各地域の水産資源をより新鮮な状態で全国にお届けできるほか、多くの人の交流が生まれ、観光資源を数多く有する三陸沿岸一体の広域観光促進など、被災地の復興をさらに後押しすることが期待されます。

今後も震災からの復興活動を全力で支援してまいりますので、引き続き関係者の皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業における主な大ロット工事

Table with 6 columns: 路線, 期間(年度), 工事名, 施工者, 社名=当時, 予算(当初)/工事内容. Rows include general soil, steel bridge, and PC bridge construction projects.

特集 復興道路・復興支援道路全線開通

強靱性・速達性実現
東日本一円が元気に連結!

工事発注・施工監理の効率化を目指す「左表参照」も相次いだ。大ロット発注を複数の発注者で一括発注するもので、発注件数や工事調整頻度を軽減したほか、施工者は工事の自由度が広がり、施工方法の合理化が可能となった。



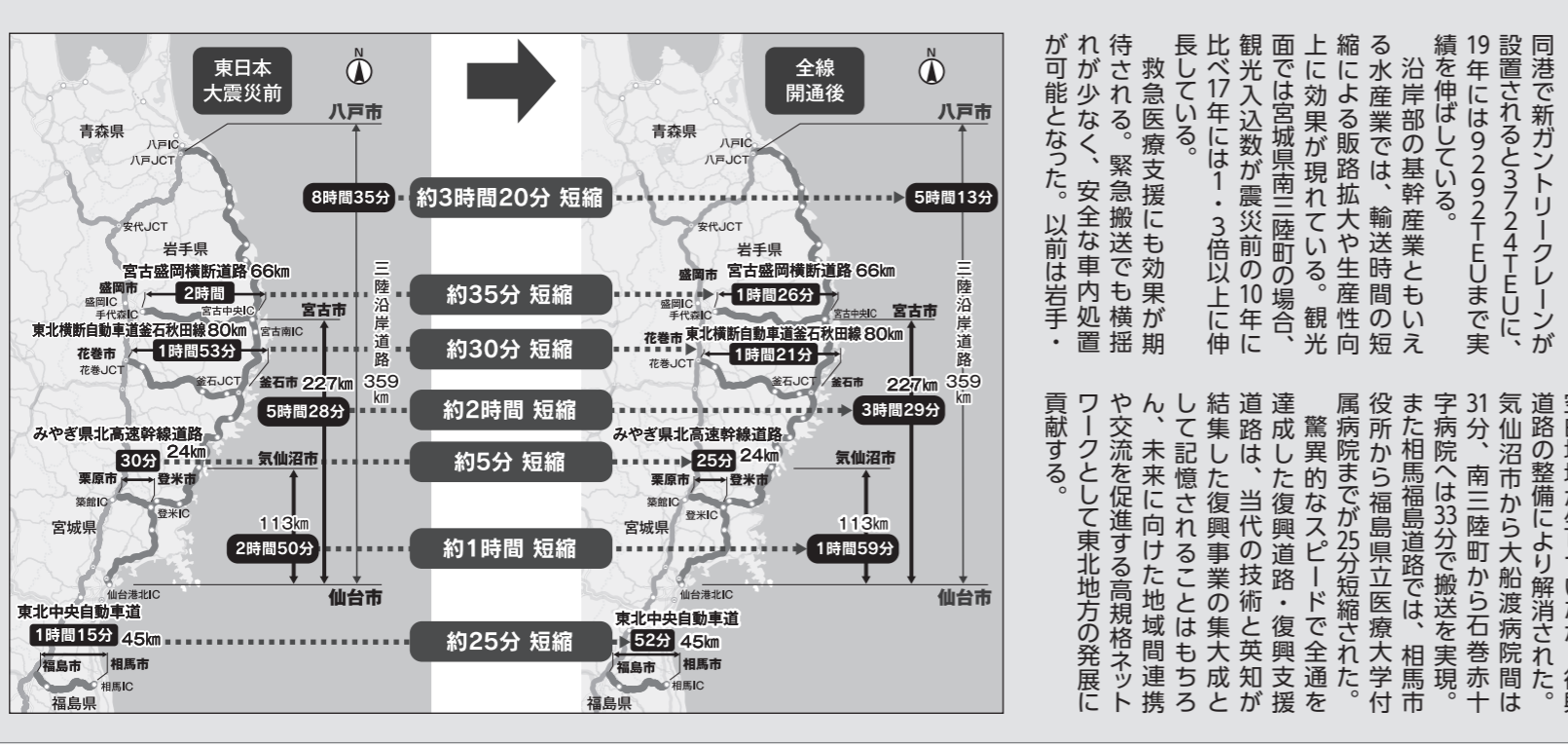
吉浜釜石道路の部分工区での大ロット工事。3.2kmという比較的短い区間にトンネル3基、高架橋2橋の大型構造物が連続した。写真＝施工中の片岸高架橋。前年夏に貫通した片岸トンネル出口が見える。2015年10月22日

沿岸で15年に生コンクリートや骨材需要がピークを迎える見込みとなっていくことから、三陸沿岸道路専用「公共生コンプラント」が2地区で設置された。宮古地区では14年8月に稼働開始。浜待道路工事

「大型ロット発注」多用 事業短縮へさまざまな取り組み 施工効率向上し、貫通待ちが発生せず、工事車両の渋滞も防ごうとされた。大ロット発注では入札不調対策も取られ、他工種大ロットでは主たる工種のみの業者を確保し、複数発注の業務を認めると、技術者要件を緩和した。

東北の各地域が高速直結 計り知れない復興道路・復興支援道路の全通効果

移動時間が大幅に短縮し、地域の産業の発展や日常生活の利便性が飛躍的に向上する。東日本一円が大きな効果をもたらすこととなる。



企業誘致・地域物流に効果発揮 移動時間短縮で地域産業や交流促進に貢献

同港で新ガントリークレーンが設置されると3724TEUに、19年には9202TEUまで実績を伸ばしている。

宮城の奥境一帯で北の岩手県立大船渡病院、南の石巻赤十字病院いすけらへ60分以上の遠征できない三次救急医療施設の空白地域が生じていたが、復興道路の整備により解消された。空の地域が生じていたが、復興道路の整備により解消された。

祝・全線開通 地域の未来と人の暮らしを結ぶ道

Grid of advertisements for various construction and engineering companies such as 五洋建設株式会社, 大旺新洋株式会社, 東亜建設工業 TOA CORPORATION, etc.

